

新しい時代に対応できる学校経営を目指して

福井県小学校協会長 山口 満

新年度がスタートし、一か月が経過しました。各学校におかれましては、順調にスタートを切っておられることと思います。同時に、新たな学校運営の計画（スクールプラン）を先生方に提示され、共通理解を図りながら、組織を挙げてその具現化への取り組みを始められたところだと思います。また、一方では校内の先生方、児童の様子をつぶさにみながら学校の状況の的確な把握に努めておられるところだと思います。

本日、令和最初の第七一回福井県小学校長学校運営研究大会を、この福井地区において開催できましたことは、福井市、永平寺町の皆様の温かい御支援と御協力の賜物であり、会員を代表いたしまして、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。本大会のために、公務御多用の中を、福井県教育委員会教育長 東村健治様、永平寺町長 河合永充様をはじめ 多数のご来賓の皆様にご臨席いただきましたこと、高いところからではございますが心より厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

私たち福井県小学校校長会は、その時その時の課題に真剣に向き合い、大きな成果を積み重ねてきました。特に、長年にわたって取り組んできた、授業改善や授業研究を中心とした教員の資質能力の向上は、本県の子どもたちの学力と体力の向上、生活習慣の定着に大きくつながってきたと確信します。

また、教職員一人一人が小教研や校内の研究会等を通してお互いに切磋琢磨し、熱意をもって実践を共有化していることは、本県の教育の誇れるところであり、教育のレベルを向上させてきた土台となっていると言えます。それらを根底から支え、指導を積み重ねて、教育環境を実りあるものにしてきたことは、私たち校長会の誇りと言えるのではないのでしょうか。

さて、今年度は、福井県小学校長会として次の三つの課題に取り組んでいきたいと考えております。

まず、一つ目は、新学習指導要領への対応です。移行措置2年目となり、全面実施に向けて見通しを持ち、カリキュラム・マネジメントを進めていくとても大切な一年となります。

新しい学習指導要領で学んだ子ども達が社会に出る頃に身につけておくべき力を見極め、確かに身につけさせていく方法をさがることが必要になります。本県の将来を担う子供達には、変化の激しい社会であっても、主体的に考えて行動し、価値を創造することに喜びを感じ、自分の生き方に自信をもちながら、ふるさとを大切にすることを高めていってほしいと思います。

二つ目は、学校における働き方改革と業務改善の取り組みです。一人一人の教員が自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう

になることが学校の業務改善の目的であり、持てる力量を十分に発揮し、教育活動の質を向上させられるようにすることも、校長の大切な仕事です。本県の教師集団は、誰もが真面目で力を合わせて熱心に働く日本一の教師集団だと自負しています。だからこそ、本県の教育がさらに充実したものなるよう舵取りをしなければならない私たちの責任は重大です。

三つめは、教育研究大会の充実です。令和2年10月には、第55回東海北陸地区連合小学校長会教育研究福井大会が、フェニックスプラザを主会場として開催されます。この東陸福井大会開催に向けて、開催準備を進めるとともに、本年8月の小浜市での県小学校長会教育研究大会、10月に富山市で開催される東海北陸地区校長会での研究発表が予定されている教育課題に関する研究内容の深化、充実を図り、東陸福井大会での研究発表につなげていけるよう、県内小学校長188名全員で、一致団結して取り組んでいきたいと思ひます。

三つの課題を上げさせていただきましたが、私たち校長の使命は、今、求められる教育内容に丁寧に向き合いながらしっかりと学校経営を行うことで、次世代を担う本県の子ども達に、変化の激しい社会を生き抜くための多様な能力や資質を身につけさせることです。そのためにも私たち校長同士が、より一層、情報と実践を共有し合い、課題を明確にして、時代に対応できる学校経営につなげていくことが大切です。

今年度も、各校長が強くリーダーシップを発揮し、これらの課題に取り組みながら、本県独自の教育を創り上げていく校長会であり続けたいと考えます。

最後になりましたが 本日の大会に向けてこれまでご尽力をいただきました福井市、永平寺町の校長先生方に心より感謝申し上げますと共に、各学校のより一層の発展と教育活動の充実を願ひまして開会のご挨拶とさせていただきます。